

2025年11月28日

加盟団体・協力団体 様

公益財団法人日本陸上競技連盟
専務理事 田崎 博道

暑熱対策に関する加盟団体・協力団体へのご案内（7月・8月の競技会開催について）

平素は日本陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本連盟では、夏季の暑熱環境下での活動において、競技者および活動に関わるすべての人々の安全確保を目的に、「主催競技会における暑熱対策について」の方針（以下、本方針という。）を発信しました。

<https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202510/syonetsu-2026.pdf>

本方針では、1. WBGT31度以上となる暑熱環境下での運動（競技）は原則中止・中断する。2. WBGT31度以上となる可能性が極めて高い7月・8月については、確実にWBGT31度以上にならない地域または時間帯（競技時間のみならずウォーミングアップ等すべての運動・活動を含む）での開催を除き、競技会は開催しない。3. 7月・8月以外の競技会においても、暑熱環境下での運動（競技）やその判断は、前記 1. および 2. と同様とする。としています。

暑熱下、特に暑熱リスクが高い7月・8月については、本方針に沿って、加盟団体・協力団体においても、競技者・審判・補助員等、競技会に関わるすべての人々の安全と健康を最優先とする競技会の設定・運営をお願いいたします。競技会の開催において、具体的には下記のご対応をお願いいたします。

1. スケジュール設定の工夫

- ・開催地の気候条件や会場の環境状況を踏まえ、暑熱リスクを回避・軽減するスケジュールを設定する。

例：猛暑が予想される日程は避ける。競技時間を朝または夕方以降とする。競技間隔の短縮等。

2. 暑さリスク評価の実施

- ・WBGT（暑さ指数）を用いて、開催当日の暑熱リスクを評価する。
- ・評価に応じて、競技中断・中止の判断基準を事前に明確化し、実行する。

※評価は、本方針および日本スポーツ協会の「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」をご参考ください。

3. 給水・冷却設備・救護体制の強化

- ・選手や審判、補助員等が安全に競技・活動できるよう必要な設備や体制を整備する。

4. 関係者への周知徹底

- ・競技者・審判・補助員・観客等に対し、暑熱対策の内容や注意点を事前に周知する。

都道府県および地域選手権等の競技会は、各主催団体の責任において、本方針の趣旨に沿った対策と対応を講じたうえで、開催可否や競技時間等の変更について、地域の実情を踏まえた自主的な判断を行ってください。加盟団体・協力団体の皆様には、引き続き安全で円滑な競技会運営にご協力いただきますようお願いいたします。

<本件に関する問合せ>

公益財団法人 日本陸上競技連盟 吉澤・磯貝

Email: jigyo@jaaf.or.jp Tel: 050-1746-8410(代表)